

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月30日

【評価実施概要】

事業所番号	3770400400
法人名	社会福祉法人善通寺福祉会
事業所名	グループホーム仙遊荘
所在地	香川県善通寺市仙遊町二丁目3番43号 (電話)0877-62-7215

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号
訪問調査日	平成21年3月3日
評価決定日	平成21年3月30日

【情報提供票より】(20年10月1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 2月 15日
ユニット数	1ユニット
利用定員数計	9人
職員数	8人
常勤	7人
非常勤	1人
常勤換算	8人

(2)建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り 4階建ての1階部分
------	-------------------------

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000円	その他の経費(月額)	実費
敷金	有()円	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,200円			

(4)利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	8名	男性	0名	女性	8名
要介護1	5名	要介護2	2名		
要介護3	1名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 86.3歳	最低	76歳	最高	98歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	岩本内科医院 麻田総合病院 大塚歯科
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

管理者を中心に職員が一丸となり、ホームの理念である和顔・愛語を実践しながら開設5年を経過し、暖かいホームづくりがなされている。職員一人ひとりの特技を活かし、利用者の楽しみごとを引き出しながら丁寧なかかわりができている。この日はひな祭りで、朝から一人ひとりに美顔術を施し化粧をし、若いときに着ていた和服を着付してあげ、記念写真を撮るなど、ひな祭り行事を楽しんでいた。職員と利用者が共に生活を楽んでいる様子がうかがえた。利用者もそれぞれの役割と楽しみごとがあり元気である。居室や共有空間は利用者と共に作った季節感あふれる装飾が程よくあり、暖かい雰囲気である。管理者をはじめ職員は、地域との付き合いや交流を深めていくことに意欲を持っている。今後その方面にも期待できるグループホームである。

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善課題である地域との交流などについては意識して取り組み、自治会、婦人会などに働きかけ、新たな取り組みも行っている。すぐに改善され効果が出るものでもないで、今後も継続して、地道に努力することを期待したい。その他の改善課題も職員の努力の様子がみられる。改善にいたってないのは今後の改善課題として取り組んでほしい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の意義と必要性については認識し、話し合い改善課題にも取り組んでいる。今後も自己評価を一人ひとりの介護のあり方を見直す機会とし取り組んでほしい。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、2か月に一度実施し、ホームの現状報告、情報交換ができている。なお一層地域に密着するために委員の構成に自治会や婦人会の代表の方に入ってもらおう努力や、討議内容も工夫されることを期待したい。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の面会時を利用して情報交換をしている。遠方の方には電話やFAXで報告し、また意見や要望も聞き、運営に反映するよう努めている。利用者の様子を手紙や写真で毎月丁寧に報告しているので家族の満足度は高い。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域との連携の必要性を管理者も職員も強く認識しており、具体的な取り組みとして利用者と共に近隣の公園の掃除に出かけている。また、近くのお大師さんの地藏さんに前掛けを作り奉納することを考えて準備を進めている。地域に溶け込む積極的な活動に期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	和顔・愛語の理念を職員一丸となり取り組み、実践している。	○	地域社会とのつながり、地域密着を目指すための理念をもうひとつ付け加え、地域に貢献できるような取り組みが望まれる。
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員で理念を共有し、一人ひとりを大切にされた暖かい家庭的なホームづくりができています。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の運動会や公民館祭りなどにできるだけ参加している。散歩などの外出時にも地域の方に積極的に声かけや挨拶を心がけている。	○	地域との付き合いに努力は見られるが、職員もまだまだという思いがあり、近くの公園の清掃に出かけたり、近くのお寺の地蔵さんに手作りの前掛けを奉納するなどの計画もあるようなので、今後も地道な地域貢献を期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義についてはよく理解できており、自己評価の取り組みも介護を見直す機会と捉えて取り組んでいる。改善項目にも前向きに取り組んでいる。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議も2か月に1回行い、施設の現状報告と出席者との情報交換が行われている。運営推進会議が地域との交流を推進する取り組みまでには至っていない。	○	運営推進会議の構成メンバーに、自治会や婦人会の方にも入ってもらうなどの工夫と、推進会議の内容も検討し、マンネリ化しない取り組みを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市に出向いて行ったり、地域包括支援センターの職員との話し合いの機会を持っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、利用者の様子を書いた手紙と、行事の写真や預かった金銭の収支など丁寧に報告している。また、要望や気にかかることは、面会時や電話でその都度報告している。家族からも満足されている。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の苦情や要望に対しては、苦情箱や聞き取りなどで対応しているが、家族からの苦情や意見はほとんどない。</p>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>運営者は職員の人事に関してその影響を十分把握して、異動も最小限にしている。離職者も少ない。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の必要性は理解し、外部研修には交代で参加している。研修システムの構築までには至っていない。</p>	○	<p>年間研修計画を作成し、職員一人ひとりが研修の意義と内容を把握できるような取り組みが望まれる。また、研修記録もきちんと整えることを期待したい。</p>
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会の研修を通じて情報交換ができています。職場も気軽に行き来ができるようネットワークづくりを進めている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	安心してサービス利用ができるよう、訪問したり見学してもらったり家族と相談しながら行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員と利用者が和気あいあいに過ごし、楽しく生活している様子がうかがえる。若い職員と利用者が喜怒哀楽を共有し、支え支えられる様子が伝わってくる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや意向をできるだけ把握するよう、職員全員が利用者に丁寧寄り添うことを心がけ実践している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	医療、家庭、介護者、本人などいろいろな方面からの意見やアイデアを傾聴し、カンファレンスを通して作成している。家族に同意を得た後、再び職員に周知する方法で、みんなで考え介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	短期目標である3か月ごとの見直し、また必要に応じて変更も柔軟に取り組んでいる。介護の支援経過記録も毎月丁寧に書かれているので、現状に即した介護の計画が立てやすい。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者には個別担当で個人の要望に答えられるよう努めているが、特別な外出の支援など十分でない部分もある。	○	要望にできるだけ応じるよう努め、今後の対策を検討しているとのことなので、家族・利用者が安心・満足できるよう柔軟な対応に期待したい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医があれば継続して医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化、終末期については、入所の時に家族ともよく話し合い、今のところ、併設施設や病院への移行を原則にしている。なおその必要性に応じて継続的に家族と確認を取りながら進めていくようにしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーを損ねるような言葉かけや対応はしないよう職員間で確認しあっている。情報が記載されている書類はきちんと保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度日課に添って生活しているが、一人ひとりのペースを大切に、穏やかにゆったりとした生活が保障されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が食事作りができる人が少なくなってきたことや、職員の負担増、食費のコストなどから、併設施設の厨房で作ったものを利用している。おやつ作りや農園でできたもので一品手作りするなど対応している。	○	食事作りにつわる一連の作業が利用者を元気にする要素を多く含んでいるので、今のシステムに満足することなく、今後の課題としてグループホーム内での食事作りを目指してほしい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	見守りができる時間帯であれば、いつでも希望に応じて入浴を楽しめる。併設施設の大きな浴場での入浴も楽しんでいる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者一人ひとりと丁寧に付き合い、役割や楽しみごとを見つけ、一緒に取り組んでいる。手作りの手芸作品もたくさん見られる。なおこの日は、希望者には美顔術を施していた。利用者の満足そうな様子が見られた。職員と利用者が楽しみごとを共有できている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一日一回は庭先や屋上で外気に触れるよう心がけ、散歩や買い物にも出かけている。希望によりドライブで遠出することもある。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ほとんど鍵をかけないで、見守りで対応しているが、不穏な症状が強い人がいて職員の見守りができないときは鍵をかけるときがある。	○	鍵をかけない工夫を目指してほしい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は母体施設や近隣の施設と共に定期的に行っている。緊急時には自治会、消防署、タクシー会社などに協力依頼している。なお緊急時に備え飲料水や食料、ポータブルトイレなど準備している。	○	災害時の地域住民とのお互いの助け合いは、運営推進会議などで継続的に協力を求めていくことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は母体施設の栄養士が立て、咀嚼や嚥下の状況に応じ食事形態も検討し対応している。水分の確保にも気をつけている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	センスのよい手作りの装飾やお花に囲まれ暖かい雰囲気である。また、季節感も十分感じられる配慮をしている。ひな祭りの飾りつけはすばらしく、地域の方を招待して交流できるほどである。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分のなじみの物をそろえ、一人ひとりその人らしい居室になっている。清潔で居心地よく過ごせるようになっている。		